



しめ縄づくりの様子

小須戸町の伝統行事〈紹介パート1〉

冬の風物を訪ねて

「水田のしめ縄づくり」

小須戸町公民館報

発行 小須戸町中央公民館
〒956-0101
新潟県中蒲原郡小須戸町
大字小須戸117番地
TEL (0250) 38-2234
FAX (0250) 38-3041
編集 公民館報編集委員会

地域の伝統文化や芸能は今、瀕死の状態だとよく云われております。はたして本当に、そうなのでしょうか。確かに時世の変化と時の流れの激しさに消え去ってしまった風俗、風習も残念なことに少なくありません。

しかしながら、小須戸町の各地域には、まだまだ郷土の先人達が残してくれた伝統文化を保存し、次世代に残そうとする、その地域特有の活き活きとした取り組みもみることが出来ます。

小須戸町の各地域で古くから続いている様々な正月の伝統行事の中で、今回は、水田の「しめ縄づくり」について、取材することにいたしました。

ことの発端は、地元にお住まいの佐藤権一郎さんが、まだ小学校へ行くか、行かない

か位の頃に正月が近づくと父親が、しめ縄を作っているのを見ていたことに始まります。父親が亡くなった後に、その当時のことを思い出し、戦中、戦後のことで、人手不足のため途切れていた。しめ縄作りを自分もまた父親の精神を活かして、なんとかして復活させたいが、しめ縄づくりの手順が分からない。

そこで、同じ水田に住む、しめ縄づくりの心得のある、木村健次郎さんを訪ね、手ほどきを受けて同じ水田に住む有志を集めて、昭和五十四年頃から約三十年振りにしめ縄の奉納を復活させ、今日に至っています。

しめ縄づくりは、毎年十二月の最終の日曜日に行われていて、水田に住む有志が、お宮様のすぐ脇にある集落センターに集り、地区でとれた稲わらを使って、すべて手作業でつくっています。

しめ縄づくりを復活させた当初は作り手が六人だけでしたが、今では二十八人位に増え、その人数は年々増えているそうです。増えてきている理由としては、地元にしめ縄を奉納する精神が理解されてきているからでしょう。

中には二世代にわたって参加している親子もいると聞き、心を打たれました。しめ縄の作り方は「三つ編み」といって、三本の束を編めて作るのだそうです。現在、作り手の人数が多いので、しめ縄の製作は二時間程で終わります。

指導者の木村さんは「人数が大勢いると、能率が上がる

ちょこっと一言 (155)

小須戸の市場が好きなわけ

鶴出古木

鶴出古木や小向方面から、おばあちゃん方が、とれたての新鮮野菜を運んで来られます。例えば、秋のほうれん草の甘さや美味しさといったらもう……。また里いもは、煮込んで食べても煮くずれせず、しかも食べると口の中であらゆる味が広がります。タネイモは10年間位ずつ



小林明江さん

と同じイモで続けているのだそうです。土がたっぷりくっついていて見た目は、決して美しいとは言えませんが、雨の日も風の日も夏の暑さの厳しい時もリヤカーを引っぱって来られるその姿に、励まされ、心動かされます。我が家の子ども達も市場の野菜は、大好きです。今朝も、炊きたてのホカホカご飯にとろろいもをのせて、美味しそうに食べて学校や保育園へ行きました。

伝統を守ることの難しさ

その後、公民館によくおいでになる、おじいさんに小須戸町で昔から続いている伝統行事についてたずねました。「子どもの時分に子ども達大勢で、モグラモチ送りをしたよ」と、もうすでになくなってしまう昔のことを懐かしく思い出しながら説明を下さいました。しかし、話の途中で急に現実に戻ったように、「今、各地域で伝統的な行事であるとか、風習等を伝えたり、指導する立場の青年部も無いし、お年よりも体の丈夫のうちは動いているので、昔からの年中行事が出来なくなっていく面もある。昔は、その季節に合ったいろいろの年中行事があったり、地域の人の団結力が強かったんだよ」と、少し寂しそうに話されました。

感銘を受けた三つの言葉

取材をしていて、佐藤さんが言った、次の三つの言葉に感銘を受けました。一つは、「自分で言うのもおっかしけど、水田の人は、ボランティア精神が旺盛」と自信満々に言ったこと。もう一つは、「新しくやろうとするには必ず、頭(リーダー)になる人がいる」と、言ったこと。

もう一つは、木村さんが「四月と八月に行われる水田のお祭り、その昔、神社の拜殿室で行われたという『太夫の舞(恵比須舞・大黒舞)』を復活させたいという声もある。しかし装束から面まで、揃えようとすると大変なお金がかかり、簡単に出来るものではない」と、おっしゃった時に少し間をおいて佐藤さんが、「お年寄りがいなくなると、先生がいなくなる」と、実感を含めて言ったことでした。

伝統行事が、生んだパワー

各地域の伝統行事が、長く続いたことを考えると、みんなで協力して取り組むことにより、信頼関係が強く結ばれ、人間関係の円滑さを育て、地域ごとの結束に役立っていることを感じます。

また、伝統行事のいわれや、

方法を、お年寄り等から伝え聞くことによって、年長者を敬う精神が自然と生まれたことが、予想されます。さらには、先人の思いやりとまごころで築かれた、それぞれの地域や郷土を知ることによって、感謝の気持ちと愛情が生まれ、町を発展させる原動力にも、つながったように思えます。

「古きをたずね、新しきを知る」といいます。伝統文化や歴史に対する理解を深め、尊重し、さらに継承・発展させることが理想です。まずは、郷土小須戸町をも一度見つけなおし、身近なところから、伝統行事・民俗芸能等に向けて、二十一世紀の指標とするための新発見を、しようではありませんか。(取材者 野崎義和)

二月十五日(木)からワールドカップサッカー大会のチケット申込が開始されます。新潟県在住の皆さんには、「国内一般販売」の申込みに加え、「開催地住民販売」に申込むことができます。申込受付期限 三月十四日(水)まで(消印有効) 開催地住民販売の対象者 申込現在、新潟県に居住している方 開催地住民販売用チケット申込ガイドの配布場所 新潟県庁(一階広報展示室、六階ワールドカップ推進室)、県財務事務所(総合庁舎)並びに小須戸町役場総務課及び中央公民館 チケット申込みに関する問い合わせ先 JAWOCチケットセンター (☎03-3287-1199) (十時~十八時・土日祝休)

ワールドカップ開催地住民販売チケット申込のお知らせ

心あたたまる各地の正月行事をしポート

矢代田神社で塞の神事

塞の神事とは、一年の災を逃れるために行われる行事のことです。

最初に神主さんから、神社の拝殿でお払いをしていただき、地域の一年の無病息災を願って大勢の参拝者が神社でお参りをします。

次に古いお札やしめ縄等を一方所にまとめて焼きます。その時に出る煙を体の患部にあてることにより痛みがとれたり、煙を吸うと頭が良くなる等のいわれがあります。最後には神楽舞も行います。



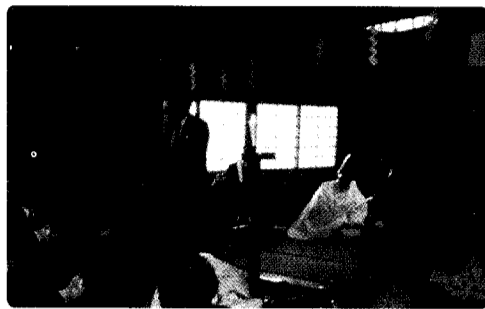
矢代田神社の神楽舞

横川浜の年始参り

横川浜では、元旦の朝になると、おのおのが地域内にある親戚の棚参り(お仏壇参り)や、村内にあるお寺に行き、新年のあいさつ廻りをする風習が、昔からあります。

決められた時間になると、参拝者が八幡宮の拝殿に集まって、みんなで神主さんからお払いを受ける元旦祭という神事を行います。

その時には、地域に住む世帯から、ほとんど欠席者なしで集まります。区長の挨拶の後、みんなで新年の挨拶を交わし合います。



横川浜年始のごあいさつ

松ヶ丘で「塞の神」

松ヶ丘では、町内会が主体となつて、町内の交流と、新年の安全祈願のために六年前から「塞の神」行事を行っております。

公園内には多勢の人達が集まり、毎年恒例の冬の行事を楽しみにしている様子が、うかがえました。

神主さんから、お払いを受けた後、広場へ移動し、古くからの形どおりにワラと竹で作られた塞の神が赤々と燃えて、輝いて見えました。

吹雪の中、参加者は「子どもも、大人も、みんな一緒に楽しんでいきます」と満足そうに話していました。



松ヶ丘の塞の神

催し物ご案内

◎おはなしのせかいへ

(絵本の読み聞かせ)

テレビとは、一味ちがった楽しさを味わってみませんか。保護者の方も大歓迎。どうぞ、お気軽においで下さい。

日時 二月二十四日(土)

午後二時～二時三十分

会場 中央公民館・二階和室
対象者 幼児から小学生まで
読み手 絵本講座会員有志
問合せ先 中央公民館

◎切り絵八ガキ展

小須戸町をはじめとする、六町村合同による切り絵展が開催されます。

寺泊町へ、おいでの際には、ぜひ会場へお立ち寄り下さい。

期日 三月(日)～三月七日(水)

時間 午前九時～午後十時

但し五日(月)は午後五時迄

会場 寺泊町文化センター

主催 小須戸町花と緑と切絵

・他、五町村の切り絵団体

◎老連「輪投げ大会」

第十五回「老連輪投げ大会」を、次の通り開催いたします。

多数の皆さんご参加下さい。

日時 三月十一日(日)

午前九時三十分より

会場 小須戸小学校・体育館

主催 町老人クラブ連合会

◎「早春の植物観察会」

春一番の植物「雪割草」を観察して見ませんか。

日時 三月二十五日(日)

午前九時～午後三時半

集合出発

場所 分水町 国上山(332m)

対象 白根市、小須戸町の住民、または親子

定員 二十五名

持ち物 昼食、筆記用具など

参加費 一人五百円(保険料)

※暖かい服装で参加下さい。

※雨天または悪天候の場合は中止いたします。

申込み受付

三月八日(木)～十六日(金)まで

午後九時～午後五時まで
問い合わせ
白根地区理科教育センター
電話 025-(372)2924

会員を募集します

◎サッカーをしてみませんか

余暇のある方、運動をしたい方、サッカーを楽しみたい方を募集しております。

近い将来に社会人リーグに参加したいと思っております。

練習日 毎土曜日 午後七時

会場 第二町民体育館

会費 月 千円

申込み・問合せ
担当 サッカー少年団
吉田正則(文京町二)

電話 38-2837

※練習日に申込みでOK

寒い中、がんばったね。
～元気に寒稽古～

恒例の寒稽古が、今年も二月二十二日(月)から七日間にわたって、盛大に行われました。



柔道の寒稽古

VOICE & VOICES

文芸欄

西には日本一の大河「信濃川」が流れ、中は田園が広がり、東には小高い山並みが続く。自然豊かな環境は漠然と承知していたが、じっくりと歩いたことにはありませんでした。最近、散歩をするようになって、ふと「あの山並みを歩いてみるか」と思った。

正月休みに、意を決して大沢公園から菩提寺山(二四八m)へ、ゆつくりと四十分位をかけて歩きました。雪道の林の中は静寂そのものでした。

その翌日はまた大沢公園から高立山(二七六m)へ、やはり四十分くらい、杉林、雑木林、笹原と自然そのものの尾根道をゆつくりと歩きました。我が町にもこんな素晴らしい登山道があったのかと再認識し、空気のおいしさと健康であることの素晴らしさを実感しました。

頂上にはどちらも休憩所があり、近郷から登った人々の楽しい会話の中に入れてもらい有意義な二日間を過ごしました。

皆さんも暇を見つけて是非挑戦してみてください。

里山登川柳

元朝の神酒とくとく注がれけり 藤井 春
赤き実のこぼれし庭に初雀 藤井れい
両手上げ歩き初む児や初霰 須藤恵美子
新世紀まごころの町年明くる 長井武雄
ふるさとの常の山河や初景色 間野良遊
初雪に箒目ありぬ観世音 内山越楼
掛け大根連なる味噌蔵醤油蔵 坂井隆思
しばらくは手のひらに乗せ初霰 馬場綾子
悲しみは心にたたみ冬籠る 五十嵐香月
新世紀知恵をしぼって掴む幸 栗原ひさし
年賀ハガキはずれる迄のお楽しみ 増井都留
お年玉諭吉の出番多くなり 我妻清作
ふるさとの奇祭に戻る小正月 高橋ただし

シリーズ 「今、子どもたちは」 (54)

小須戸中学校 一年三組 青木 友美子

私は桜花寮には初めて行くので、最初、どんな事をすればいいのか不安でした。しかし、いざ行ってみると、桜花寮の人達がやさしく教えてくれて迷わず仕事ができました。そのおかげで笑顔で帰る事ができました。ここに来なかつたらこんな満ちあふれた気持ちには味わえなかつたと思います。本当に桜花寮に来て良かったと実感しました。

その後、帰りのバスの中で私はボランティアとは何か、考えていました。私が思うにはボランティアとは、お互いにやさしさを分け合うことだと感じました。そうでなければ



桜花寮でのボランティア

ふれあい電話相談

教育相談をはじめ、いろいろな電話相談に応じます。

◆三月の相談日

一日(金)九日(金)十六日(金)
二十三日(金)三十日(金)

◆受付時間

午後一時～五時

◆電話番号

三八一三三〇〇

◎お名前、言わなくてもいいです。
◎秘密は、固く守ります。

バブルが崩壊して行く理由がつかみません。ボランティアは、きっかけが大事です。みんなが自分からきっかけをつかんでとりくんでいければボランティアの輪が広がることでしょう。